

# 色内小学校再編後の学校跡地の活用方針案に関する第1回説明会の概要

## ～主な質問・意見とそれに対する市の回答～

- 日時 平成26年3月24日(月) 午後6時～7時50分
- 場所 いなきたコミュニティセンター会議室
- 出席者 22人
- 概要

市から色内小学校再編後の跡利用について、説明を行いました。  
 当日、出席者の皆様からいただいた主な質問や意見と、それに対して市が回答した内容は次のとおりです。  
 なお、避難所の変更や道営住宅の規模について不安視される御意見が多かったことから、8月6日に第2回目の説明会を開催いたしました。

項目	質問・意見	市の回答
避難所について	いなきたコミセンは、色内小学校と比べ、避難所としての規模が3分の1となるが、災害発生時に避難者を収容できるのか。	津波だけではなく、台風や土砂崩れなど災害の種類によって避難が必要な人数は変わってくるため、避難者が多い場合、周辺の避難所への分散や振り分けによる対応を考えています。
	避難所の標高が、35m(色内小学校)から、8m(いなきたコミュニティセンター)と低くなるが、大規模な津波が来た場合大丈夫なのか。	現時点での小樽市内の津波の浸水想定は、一番高いところで3.13mとなっており、すでに津波避難所として指定している小樽市民センター(標高8m)と同様、浸水する可能性は低いと考えられます。
	国内で頻繁に地震が起きており、想定される津波も見直しされている。東日本大震災のような想定外のことも考える必要があるのではないか。	現時点で想定される津波の遡上高が基本であり、現状でそれ以上の高さを保持できていることから問題はないと考えています。現在、北海道日本海側の詳細な調査が北海道で行われておりますが、この調査により小樽における現時点の想定が大幅に変更されることはないと考えております。
	説明会の開催案内を受けた際に、避難所についていくつか提案をしたが、そのことを検討してきたように思えない。	説明会の趣旨をお話しした際、避難所をいなきたコミュニティセンターに変更することを検討している旨、説明いたしました。いただいた御意見に対し、避難所の規模が小さくなることに庁内で協議し、他の避難所への振り分けることなどの検討を行いました。
道営住宅について	建物の高さや規模、配置が何も示されない中、建設の是非を判断することはできない。周辺住民にとって大きく環境が変わる話であり、建設に同意してしまった後にはもう、意見を聞いてもらえる機会がない。	現時点でどれくらいの規模になるは未定ですが、民間のマンションのように建築基準法の制限いっぱいまで高くなることは考えづらく、市内の他の公営住宅のような常識的な範囲になると考えられます。 また、北海道へは地域からの声を伝えてまいりたいと考えています。
	学校の跡利用として、道営住宅を建設したいという考えは分かるが、地域に住んでいる住民の疑問には、いつ答えてくれるのか。	現時点では、道営住宅の建設を要望すべきかどうかという段階のため、規模や高さ等については未定の状態です。要望することになれば、北海道から建設の概要など様々な情報が入ると思いますので、地域の皆さんにお知らせしてまいります。

項目	質問・意見	市の回答
その他の御意見について	今日の説明会は道営住宅建設についての意見という形になっているが、提案より住民の意見を聞くほうが先ではないのか。道営住宅ありきではなく、知恵を絞って、もっとよい案を考えるべきではないのか。	学校の跡利用について全く白紙の状態では皆さんの意見を聞くことは難しいと考え、市として考えを整理した上で説明させていただきました。 また、跡利用を検討する際に最も障害となるのが校舎の状態であり、老朽化した建物を活用するには耐震診断、耐震改修工事が必要となることから、現時点で最善の選択肢として道営住宅としての活用案を示させていただきました。
	この少ない参加人数で地域の意見を聞いたと言えるのか。地域の理解を得られたらというが、どのような状況になれば理解を得たと判断するのか。	なるべく多くの方に参加していただきたく、早めに開催案内を回すなどしてきましたが、（参加者が少ないという）本日の状況を踏まえて対応を考えてまいりたいと思います。なお、道営住宅の建設候補地とすることについて、様々な御意見をいただきましたので、本日の説明会をもって判断することはいたしません。
	避難所確保のことは再編の懇談会の段階から話しており、それを踏まえた跡利用を検討するという事で再編に納得したのに、統合についても跡利用についても何も相談されないまま今回の提案があった。このような事後報告的な手法では納得できない。	今回は庁内で検討した結果、道営住宅の建設について要望する方針をお示しましたが、皆様の御理解が得られないものを突き進めて押し切ろうという考えではありません。いただいた意見は一度持ち帰り、最終的にはその御意見を踏まえて跡利用を考えてまいります。
	再度説明会を開くと思うが、今日の議事録は各町会に配られるのか。地域住民にとって重要な話であり、多くの意見を吸い上げるためにも配布してほしい。	参加人数も少なかったことから、本日出された主な御意見の概要を作成し、対応いたしたいと考えております。
	この地域は遊ぶ場所がないので、色内小学校で遊んでおり、廃校になったら地域で子どもの遊ぶ場所がなくなる。道営住宅となれば、グラウンドは駐車場などになるのだろうか、子どもの遊ぶ場所としてグラウンドを残すように考えられないのか。	(説明会当日は、御意見としてお聞きしております)
	小樽は高齢者が多いので、高齢者の憩いの場を積極的に作るべきと考える。	
	市民のためになる施設として、普段は防災センターとして非常時には避難所に転用できる施設など、市の財産となるものを検討してほしい。	